

教員おすすめ図書コーナー推薦書

教員氏名	おすすめメッセージ
加藤 健太 先生	
① 図書名：「好き」を言語化する技術 著者：三宅香帆 出版社：ディスカヴァー・トゥエンティワン ISBN：9784799330838	<p>本書は、そのサブタイトルにあるとおり、「推しの素晴らしさを語りたいのに『やばい！』しかでてこない」ひとに向けて＜伝える技術＞を教えてくれる。</p> <p>ネタバレになるから、ぼくがもっともシンパシーを感じた一文だけを紹介する。著者は「最初から個性をだそうと考えるよりも、自分の好きな発信を模倣していくなかで、なぜかお手本と違ってしまうところを自分の個性として育てましょう」とアドバイスする。それは、ぼくがゼミで強調する「インプットなくしてアウトプットなし」というメッセージと共通する部分をもつからである。</p> <p>グッドな文章やグッドな表現に触れることで、自分の文章力や表現力は向上する。この本をぜひ手にとって、推しの魅力を自分の言葉で伝えられるようになってほしいっ(^_^♪</p>
② 図書名：私とは何か—「個人」から「分人」へ 著者：平野啓一郎 出版社：講談社現代新書 ISBN：9784062881722	<p>本書は、「分人」という耳慣れないキーワードを駆使して、人間関係のあり方にこれまでなかった斬新な提案をしている。それは、文字通り、＜目からウロコ＞な議論といってよい。</p> <p>具体的な話は実際に読んでもらいたいけど、1つだけ紹介しておこう。</p> <p>＜今の自分を変えたい＞と思っているひとは、少なくないだろう。しかし、大学生くらいオトナになると、変わることは簡単ではない。そのとき、つきあうひとを変えたり、環境を変えたりして、「分人の構成比率を変える」ことが有効な手段になる。それは、どういうことか。</p> <p>少しでも気になったひとは、ぜひ手にとってほしいと強く思う。</p>
③ 図書名：夢を叶えるゾウ 0（ゼロ） 著者：水野敬也 出版社：文響社 ISBN：9784866519180	<p>本書は、ぼくが本学の『INTRO』の「教員おすすめの本」というコーナーで「おすすめ」している『夢をかなえるゾウ』のシリーズ最新作である。なので、「おすすめ」する理由も『INTRO』のそれとあまり変わらない。なので、ここでは、少しでも人生をたのしく生きるためにガネーシャの言葉を1つだけ紹介するにとどめておく。「すべて、伏線だ」、これである。その含意は、ぜひ本書を読んで自分で発見してもらいたい。</p> <p>あと、この作品にも、渋沢栄一や松下幸之助、本田宗一郎、ヘンリー・フォード、盛田昭夫など、ぼくが講義で光を当てる企業家・経営者が登場する。ガネーシャが引用する彼らの言葉から学ぶこともあるだろう。本書を「おすすめ」するもう1つの理由である。</p>